

自らの教育権を懸けて —狭山同盟休校を闘った子どもたち—

全国水平社以来の部落解放運動では、子どもたちもその最前線にたつて、差別をなくそうと闘ってきました。
一九七六年五月二十二日、京都・千本の子どもたちが立ち上がり、「狭山同盟休校」が実施されました。本年は狭山同盟休校から五十年目となることから、当時を振り返るとともに、今日的な部落解放運動・人権(同和)教育のあり方を考える機会とします。

期 間:2026年11月4日(水)～12月26日(土)

入館無料

展示替えに伴う臨時休館

- ①2026年10月22日(木)～11月3日(火)
- ②2026年12月27日(日)～2027年1月12日(火)

会 場:京都市人権資料展示施設 ツラッティ千本

開館時間:10時～16時30分

所 在 地:〒603-8226 京都市北区紫野西舟岡町2 ふれあい共生館内

問合せ先:TEL/FAX 075-441-1011

休 館 日:日曜日、火曜日、祝日

ア クセ ス:市バス「千本北大路」「ライトハウス前」下車

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

ホームページ:京都市情報館(<https://www.city.kyoto.lg.jp>)から

「ツラッティ千本」で検索

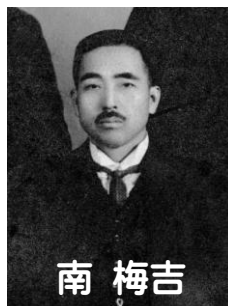


《新収蔵資料の公開》

本年、全国水平社初代委員長を務めた南梅吉が日本水平社時代に発行した「三度我が同胞諸賢に告ぐ」(1935年)という資料を寄贈いただきました。

本特別展に合わせて初公開します。

※南梅吉は全国水平社委員長を退いた後、1927年に「日本水平社」を設立しています。



南 梅 吉

